

「ともに生きる」を発信する

信

州

# ふっころ フェスティバル

2022

2022

11/12 土 オンライン併催 10:00~15:00

須坂市文化会館 メセナホール

併催

- ◎ 第71回長野県社会福祉大会
- ◎ 介護の日県民のつどい
- ◎ 地域共生社会推進長野フォーラム



地域共生応援大使  
ふっころ

信州ふっころフェスティバルは、  
信州の自然と風土のなかで、  
「ごちゃまぜ」の力を原動力に、  
様々な個性や多様性が地域で輝く  
共生とふくしの未来を  
みんなで感じる集いとして  
開催します。



赤い羽根共同募金  
配分金助成事業

信州ふっころプラン推進会議

「ともに生きる」を発信する

信

# ふっころ フェスティバル

2022

2022  
**11/12** 土 10:00~15:00  
須坂市文化会館 メセナホール

オンライン  
併催



10:00~10:25

## オープニングセレモニー

「福祉・介護の魅力発信とイノベーションの促進」



開会宣言



メッセージ 「ともに生きる」を発信する



**ケアコン** 2022 (最優秀賞) 授賞式

【ゲスト】

長野県知事 阿部 守一氏

【総合司会】

上条 百里奈氏 (長野県出身)

介護福祉士・白梅学園大学嘱託研究員・モデル



10:30~11:50

## 地域共生シンポジウム

「人口減少社会に持続可能な地域づくりを考える」

シンポジスト

玉木 信博氏 一般社団法人 ソーシャルファームながかわ 事務局長

北澤 淳氏 合同会社 風の谷の大鹿 社員/長野県職員

コメンテーター

藤山 浩氏 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

【ゲスト】

長野県知事 阿部 守一氏

【司会】

上条 百里奈氏



12:00~12:30

## 表彰 第71回長野県社会福祉大会

長野県社会福祉協議会会長表彰

長野県共同募金会感謝

**ケアコン** 2022 (優秀賞) 授賞式



13:30~13:45

## スペシャルライブ

【ギターリスト】 Showji (長野市在住)



13:50~15:00

## 介護の日スペシャルトーク

「介護の魅力を語ろう、伝えよう！」



スペシャルトーク「介護の魅力を語ろう、伝えよう！」

平岩 なつみ氏 一般社団法人 福祉 K to Y 代表理事

小林 信彦氏 IBAFUKU プロジェクトリーダー

神谷 典成氏 長野県福祉・介護人材確保ネットワーク会議 委員長

【司会】 上条 百里奈氏



地域共生応援大使  
ふっころ

10:00~10:25



# オープニングセレモニー

## 「福祉・介護の魅力発信とイノベーションの促進」



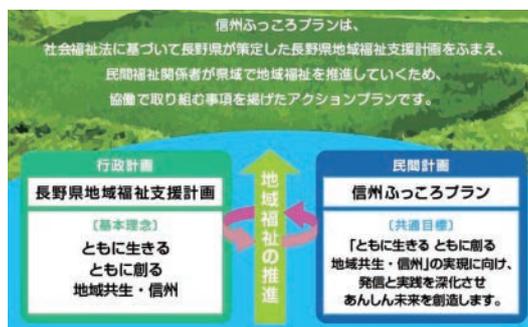
**開会宣言** 藤原忠彦 信州ふっころプラン推進会議会長



**メッセージ** 「ともに生きる」を発信する

- 佐久市こども未来館 館長 なおやマン 島崎 直也 氏
- hanpo 代表 草深 将雄 氏
- 市民活動団体 タイラビ 副代表 角谷 美由紀 氏

〈信州ふっころプラン（長野県地域福祉活動計画）の推進〉



**ケアコン2022（第3回長野県介護技術コンテスト）授賞式**



〈規定部門〉最優秀賞 hotaka2号



〈エピソード部門〉最優秀賞 チームレインボー

【ゲスト】  
長野県知事  
阿部 守一 氏



【総合司会】  
上条 百里奈 氏  
介護福祉士・  
白梅学園大学嘱託研究員・  
モデル（長野県出身）



介護福祉士として現場に従事しながら、白梅学園大学で嘱託研究員兼非常勤講師を務める。

10:30~11:50



## 地域共生シンポジウム

「人口減少社会に持続可能な地域づくりを考える」



人口減少社会、過疎化の進展の中、移住・定住の促進や交流人口の獲得に向けた取組が県内各地で展開されています。人と人がつながり、お互いに支え合い、誰もが居場所と出番がある持続可能な地域づくりについて考えます。

シンポジスト



### 玉木 信博 氏

一般社団法人 ソーシャルファームなかがわ  
事務局長



中川村に移住し、労働者協同組合における農・地域づくり・福祉の連携を模索し、地域の仲間とともに当法人を設立。



### 北澤 淳 氏

合同会社風の谷の大鹿 社員／長野県職員



大鹿村出身。県職員として働きながら、副業制度を活用して地元の仲間と合同会社を設立。愛する地元でカフェ「HAKKO OOSHICA」をオープン。

コメンテーター



### 藤山 浩 氏

持続可能な地域社会総合研究所 所長

島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析（人口・経済）、地域づくり支援。著書に「日本はどこで間違えたのか」など

【ゲスト】

長野県知事 阿部 守一 氏

【司会】

上条 百里奈 氏

12:00~12:30



# 表彰

## 第71回長野県社会福祉大会



### 長野県社会福祉協議会会長表彰



#### 表彰

(敬称略)

#### 1 社会福祉功労者

##### ア 民生・児童委員功労表彰 (41名)

本島和美	軽井沢町	小松久子	岡谷市
土屋常男	軽井沢町	武居敏明	岡谷市
土屋柁雄	軽井沢町	小林武人	岡谷市
森泉久雄	軽井沢町	小口節子	岡谷市
土屋栄衛	軽井沢町	山口俊雄	岡谷市
前田清美	富士見町	樋口昭三	飯田市
和田博	箕輪町	福澤貴庸子	飯田市
北澤俊雄	箕輪町	前島三津江	飯田市
半崎和枝	泰阜村	飯田敏彦	諏訪市
中村元美	山形村	矢崎竹代	諏訪市
北村ます代	信濃町	山浦泰子	駒ヶ根市
三澤敏一	信濃町	佐野榮	駒ヶ根市
高橋芳子	松本市	小林一善	中野市
高木澄枝	岡谷市	佐藤禮子	中野市
今井美保子	岡谷市	吉澤百合子	大町市
森下貴子	岡谷市	戸田允文	茅野市
小口順啓	岡谷市	鶴石悠紀	茅野市
濱真由美	岡谷市	依田政一	東御市

白石幸男	東御市
榎原みち代	東御市
宮坂美代子	東御市

上條孝子	安曇野市
深澤一廣	安曇野市

## イ 民間社会福祉施設・団体及び社会福祉協議会役員功労表彰 (7名)

小林昭五	山形村	西澤武十	長野市
中村哲久	山形村	水本正俊	長野市
小林玄海	長野市	中條智子	千曲市
芝波田利直	長野市		

## 2 永年勤続者表彰 (34名)

井出智代	川上村	深澤充	松本市
篠原謙一	川上村	古幡安志	松本市
高橋恒夫	立科町	堀内良知	松本市
高橋いづみ	青木村	宮内治彦	松本市
石吾孝之	辰野町	浅野美保子	上田市
竹入さか枝	辰野町	岩佐みゆき	上田市
吉田さつき	宮田村	岸田博	上田市
簗河原あゆ美	麻績村	甲田信子	上田市
上條嘉子	山形村	西田千枝	上田市
山浦則彦	小布施町	丸山洋子	上田市
土屋秀子	飯綱町	原すみ子	須坂市
坂口朝子	山ノ内町	下平靖恵	駒ヶ根市
山口剛史	長野市	津金恵子	駒ヶ根市
岩本明子	松本市	鈴木浩史	中野市
川村豊	松本市	赤沼一仁	千曲市
清水史郎	松本市	大神泉	安曇野市
宗田一幸	松本市		他1名

### 3 社会福祉活動

#### ア ボランティア及びボランティア団体

##### ①個人ボランティア（6名）

赤羽根浩	駒ヶ根市	駒場由里子	駒ヶ根市
唐澤茂丞	駒ヶ根市	代田和美	駒ヶ根市
北村喜久枝	駒ヶ根市	宮下珪治	駒ヶ根市

##### ②ボランティア団体（7団体）

坂下いきいきサロン寿会	池田町
おとわの会	坂城町
桜麗会	松本市
ぷりてい わんこ くらぶ	松本市
一匹でも犬・ねこを救う会	上田市
おもちゃなおし隊こもろ	小諸市
市場割地区社会福祉協議会	駒ヶ根市



##### 感謝（1名）

関根玲子	松本市
------	-----



## 長野県共同募金会感謝

### 感謝

#### 募金ボランティア（9名）

藤澤 滝子	須坂市
善財 さち子	須坂市
西田 幸恵	須坂市
小池 まさ枝	須坂市
市村 忠彦	須坂市
業田 素子	須坂市
深谷 茂子	須坂市
藤澤 通子	須坂市
北村 孝之	須坂市





# 第3回 長野県介護技術コンテスト (ケアコン2022)

## 最優秀賞

長野県知事賞

規定部門



ほっとハウスほたかの家  
hotaka2号

エピソード部門



社会福祉法人ハーモニー福祉会  
チームレインボー

## 優秀賞



優秀賞 長野県介護福祉士会会長賞

規定部門



松本短期大学介護福祉学科Aチーム

エピソード部門



リーベまつかわ



優秀賞 長野県社会福祉協議会会長賞

規定部門



長野県福祉大学校 ふくしまる

エピソード部門



エクセラン高校 ダイチャンズ



優秀賞 長野県社会福祉法人経営者協議会会長賞

規定部門



松本短期大学介護福祉学科Dチーム

エピソード部門



ほっとハウスほたかの家 おじヤン



優秀賞 長野県介護福祉士養成施設連絡会賞

規定部門



松本短期大学介護福祉学科Cチーム

エピソード部門



- ① 地元の名所や季節に合わせた素材を選択しました。
- ② 色鉛筆は間違わないために一色ずつ渡し、薄い色は筆圧が強いご利用者様又はスタッフが担当するよう工夫をしました
- ③ 色が塗りやすいようにご利用者さまに聞きながら、マスや文字の大きさを調整しました。
- ④ 色塗りに夢中になってしまう為、適度に休憩するように水分の補給、体操、トイレを促しました。

ショートステイ花りん 花りん



規定部門



上田千曲高校生活福祉科3年生C

エピソード部門



エクセラン高校 どうも初めまして

規定部門



エクセラン高校福祉科1・3年チーム

エピソード部門



長野県福祉大学校 QOL(クオリティー・オブ・ラブ)



社会福祉法人 からし種の会

授賞理由：障がい福祉分野からケアコンに積極的にチャレンジしていること

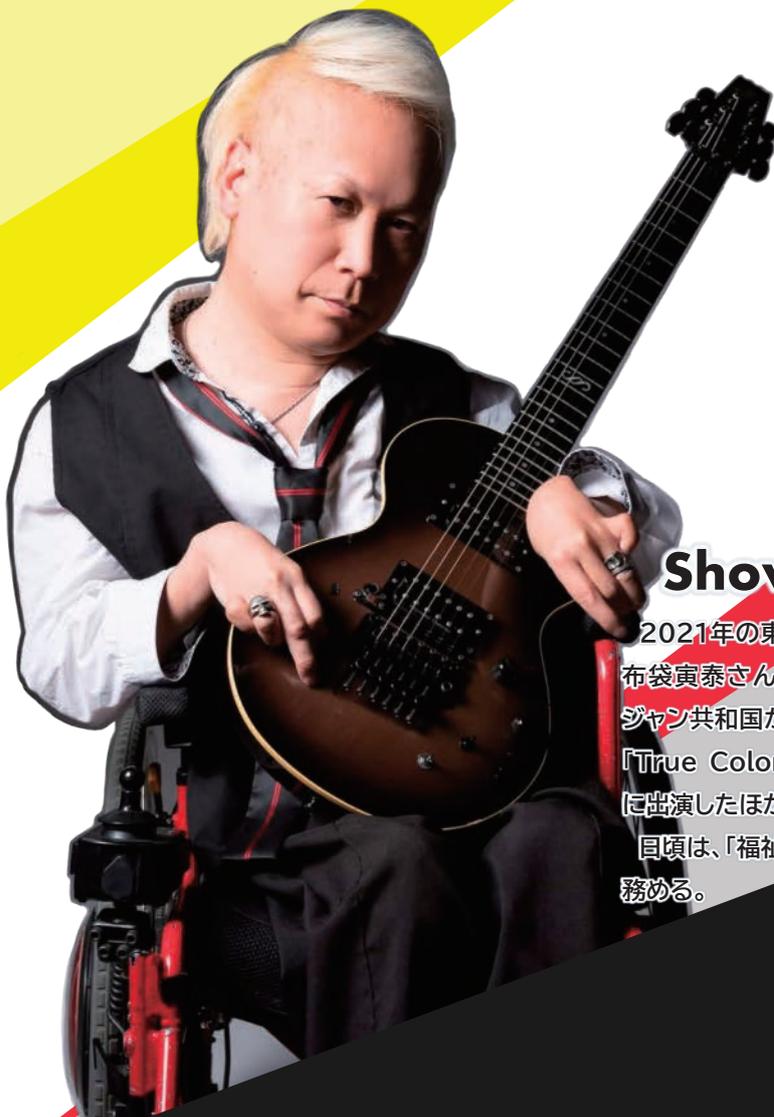
13:30~13:45



## スペシャルライブ

ギターリスト Showji (長野市在住)

# Showji Kawasaki Special live 13:30 ~ 13:45



## Showji Kawasaki

2021年の東京五輪パラリンピック開会式で布袋寅泰さんと共演。2022年はアゼルバイジャン共和国から招待を受け、現地での芸術祭「True Colors Festival in Azerbaijan」に出演したほか、全国各地の演奏会に出演。

目標は、「福祉で学ぶ訪問講座」などで講師も務める。

Personal



WEB SITE

13:50~15:00



## 介護の日スペシャルトーク

「介護の魅力を語ろう、伝えよう！」



### ケアコン2022 受賞作品紹介

## ケアコン2022とは

介護の仕事を目指す学生や介護の職場で働いている介護職員が利用者の望む生活を実現するための介護技術を競い、介護技術の向上を図るとともに県民に介護のすばらしさを発信し、「介護の仕事」への理解を深めてもらうことを目的とするコンテスト。

第3回コンテストには、規定部門に加えて援助技術の向上を目指したエピソード部門を設け、規定部門に27チーム、エピソード部門に23チーム、計50チームが参加しました。

与えられた規定課題やオリジナルエピソードに対して、チームで介護を実演する様子を動画で撮影、審査しました。

#### 設定課題

#### 規定部門

長野さんは半年前から介護老人福祉施設に入所しています。脳梗塞の後遺症のため、歩行が不安定になり、杖を使っています。気分が落ち着かないことが多く、そんな時の長野さんへの介助について考えてみましょう！

#### 設定課題

#### エピソード部門

介護職が中心となって、介護や生活支援を要する人の夢や思いを実現するエピソードを動画で表現してください。

# ケアコン2022 授賞作品ピックアップ



## 規定部門 最優秀賞

hotaka2号 (株式会社北アルプスの風)

上着を裏返しに着ている認知症の高齢者。ご本人のプライドに配慮しながら、円滑な着替えを促すには…

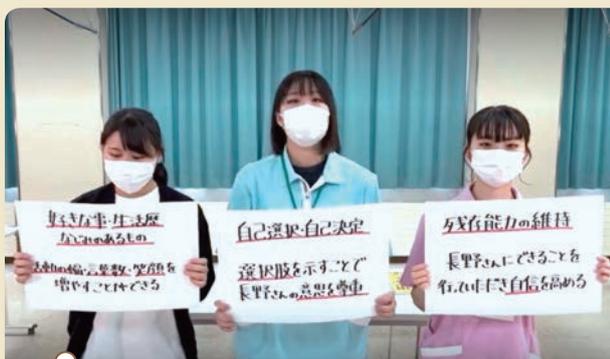
全27チーム中、オンリーワンの工夫が必見!



## エピソード部門 最優秀賞

チームレインボー (社会福祉法人ハーモニー福祉会)

「もう一度山を歩きたい」  
元登山家の夢をかなえるために職員チームが立ち上がる。  
感動の再現ドラマ。



## 規定部門 優秀賞

松本短期大学介護福祉学科Aチーム

「生活歴を考慮」「自己選択の尊重」「残存能力の維持」など、介護の基本を学生らしく忠実に、さわやかに実技してくれました。



## エピソード部門 優秀賞

ダイチャンズ (エクセラン高校)

夜中に起きてしまうおばあちゃん。  
孫には頼らなかったのに、介護のプロには自然に「お願い」していた…  
介護のプロを目指すきっかけを丁寧に描きます。

スペシャルトーク

# 介護の魅力を 語ろう、 伝えよう！

司会：上条 百里奈氏



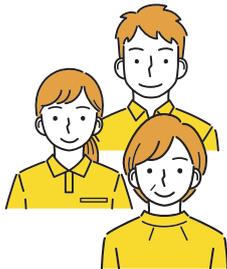
(一社)福祉 KtoY  
**平岩 なつみ 氏**

大学在学中に当法人を立ち上げ、福祉の魅力発信に取り組む。集落支援員として伊那市にUターンし福祉の地域づくりに取り組む。



IBAFUKU  
プロジェクトリーダー  
**小林 信彦 氏**

いばらき中央福祉専門学校を中心に「福祉の楽しさ」を発信するプロジェクト！



## 会場の皆さん

★スマホからご意見をお寄せください！



## 神谷 典成 氏

長野県福祉・介護人材確保ネットワーク会議委員長  
北アルプスの風グループ代表



# 一般社団法人福祉KtoY

**Mission:** 福祉のイメージを3Kから3Y(やりがい・やさしさ・よろこび)へ

福祉KtoYは、**福祉の仕事のイメージアップ**や、**福祉の関係人口を増やす**ことを目指して活動しています。

2016年に学生団体として発足し、学生・若者が運営の中心となって活動を続けてきました。福祉への想いは社会人になっても変わらず、任意団体として学生や若者とともに活動を続け、2022年7月に長野県伊那市を拠点とする一般社団法人となりました。

## 長期 Vision

- 誰もが安心していきいきと暮らせる社会をつくる

## 中期 Vision

- 福祉な人 (=目の前の困っている人に手を差し伸べられる人)を増やす
- 医療福祉業界で働く人たちがいきいきと働ける社会をつくる



ごちゃまぜファッションショー  
2021.12.11 伊那市総合文化会館



WelCaMe Match  
スカウト型マッチングイベント

医療福祉業界法人  
×  
医療福祉学生・若手社会人



AMAZING FUKUSHI FESTA  
2020.9.13 Sun

医療や福祉を学んでいる全国の学生や、この業界に思いのある若者たちが集い繋がり、学び合い、支えあうことを目的に2020年より

「**全国医療・福祉学生&若者コミュニティWelCaMe (ウェルカメ)**」を運営中

150名を超える全国各地の仲間たちと一緒に様々な活動をおこなっています！



代表理事 平岩なつみ  
理事 相良友哉 横山嘉一

※2016年4月設立、2022年7月4日法人化

## 現在までの事業実績

- 医療福祉業界の関係人口や担い手の掘り起こしと繋がりづくり  
→ WelCaMeコミュニティの運営
- 医療福祉業界の魅力啓発イベント企画運営  
→ AMAZING FUKUSHI FESTA [独自事業]  
→ WelCaMe Festa [受託事業]
- 福祉教育ツール開発  
→ 「福祉人生すごろく (通称: ふくろく)」の商品化
- 学生や企業等に向けての講演活動を随時実施

福祉KtoY



Mail: [fukushi.ktoy.mk@gmail.com](mailto:fukushi.ktoy.mk@gmail.com)



@fukushi\_ktoy



@fukushiktoy



@fukushi.ktoy



福祉KtoY



WelCaMe  
Twitter



# 福祉を遊ぶと 誰かに優しくしたくなる



## ふくろく ~福祉人生すごろく~

遊ぶうちに福祉がちょっとだけ身近になるカードゲーム

- ✓ 生活のなかにある身近な福祉について知りたいあなたへ
- ✓ 他人の生き方や価値観について関心があるあなたへ
- ✓ 福祉の心と行動力を身に付けたいあなたへ



商品化と多くの方への普及啓発を目指して  
まもなく、クラウドファンディングを開始します！



いばふくとは、介護福祉士養成校のいばらき中央福祉専門学校が中心となり始まりました。ひとことで言うと「福祉」で人が集まるムーブメントを起こすプロジェクトです。

わたしたちのミッションは、茨城から福祉で世界を元気にすること。ここでいう「世界」とは、一人ひとりの手の届く範囲の生活から地域社会、海外も指す広い意味で使っています。

ミッションを叶えるためには、福祉の人材不足という大きな社会課題を解決しなければなりません。例えば、2025年の介護人材不足数は、茨城県内だけでも約7,000名と言われています。少子高齢化で人口も減少し続けており、その社会課題自体をいばふくの活動で解決するアプローチをしたいと活動してきました。

具体的に何を行っているかというと、超楽しい研修やイベントを企画・運営しています。これまでの7年間の活動で約8000名の方が参加してくださいました。最終的にみなさんにこう言ってもらいたいです。

「茨城の福祉やべー」って。

この「やべー」とは、「茨城の福祉が超気になる」だったり、「福祉で働いたらやっぱり茨城!」や「福祉が充実しているから住むなら茨城!!」といった状態をイメージしています。もし福祉で人口が増えたら超素敵で面白いと思いませんか？

だからこそ、もっともっと「福祉」とのタッチポイントを作るため、活動の幅を広げていきたいと思っています。わたしたちの活動はまだ点でしかありません。業界内外問わず、新たな発想をいただきたいです。素敵の方々とシンプルにお友達になりたいと思っています。ぜひ、わたしたちの活動を応援してください!!





# パラスポーツ紹介



パラリンピック競技

「ボッチャ」紹介コーナー  
(競技体験もあり)

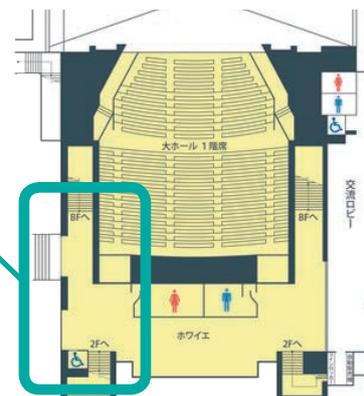
体験者募集!



ボッチャは、  
障がいの有無・年齢・性別に関係なく、  
＼どなたでも楽しめます！／

場所 大ホール ホワイエ

内容 体験コーナー  
パネル展示  
関連動画上映



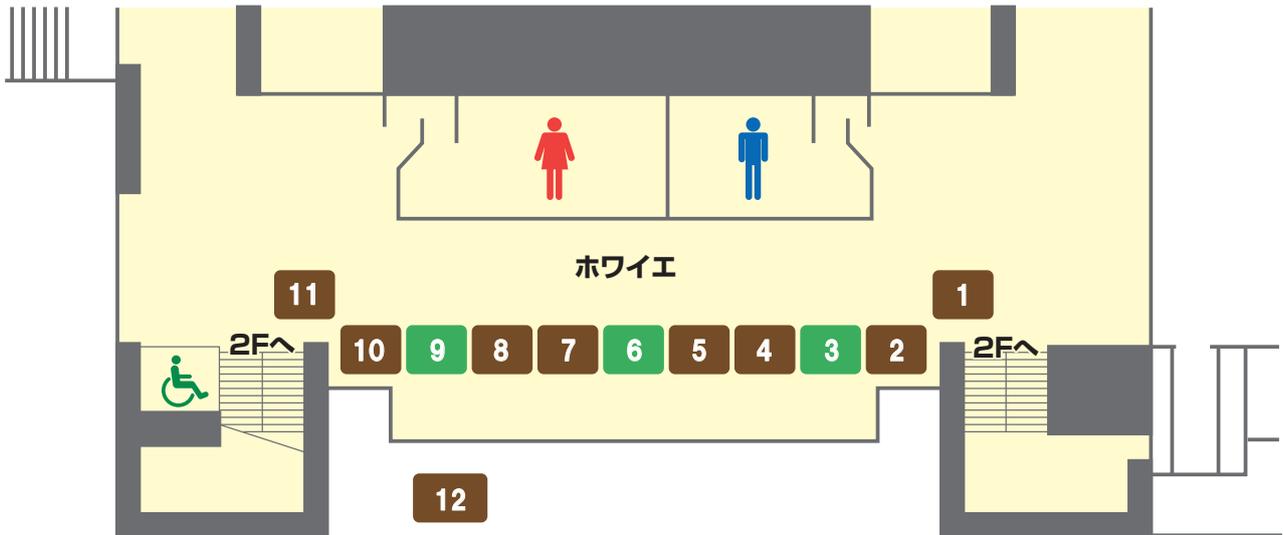
# 丁寧な仕事 ここに集結

事業所の皆さんが**創意工夫**を凝らした商品たちばかりです

この機会に **ぜひ** **見て 触って 知って** ください



長野まごころネット



**1 Jumpin'** イチョビしフードアワード  
マフィン (災害用缶詰)、  
焼き菓子、手作りパン

**2 クロスロード**  
コーヒー、スープ、  
パウンドケーキ、クッキー

**3 なな色日和**  
毛糸フェルト、レジン、アレン  
ジ雑貨、布製品、着物アレンジ

**4 八雲日和**  
八雲うどん (生うどん)  
八雲のお八季 (おやき)

**5 エコンファミリー**  
パン、シフォンケーキ、クッキー、  
豆腐、小物、スープ

**6 もえぎ舎**  
財布、ポーチ、名刺入れ、  
ペンケース、キーホルダー

**7 Bakery café CoCo**  
焼き菓子  
パン

**8 ぐーと**  
シュークリーム、ソーセージパイ、  
パウンドケーキ、クッキー

**9 学び舎めぶき**  
ヴィーガンレザー商品、  
たかぎび、ドライフルーツ

**10 ポポラス**  
パン  
お菓子

**11 信州そば工房きずな**  
そば、うどん、おぶっこ、シフォン  
ケーキ、パウンドケーキ

**12 ハーモニー桃の郷**  
焼きそば

# 福祉展示 体験コーナー



福祉 K to Y

福祉人生すごろく



ふくしのお仕事体験

ふくしニア



地域共生応援大使  
ふっころ

長野県地域福祉活動計画

# 信州ふっころプラン

〔計画期間〕令和2年度(2020年度)ー令和4年度(2022年度)

## 令和3年度 of 取組紹介



「ともに生きる ともに創る 地域共生・信州」  
の実現に向け、発信と実践を深化させ  
あんしん未来を創造します。

使命

- I 「ともに生きる」を発信する
- II 「ともに創る」を実践する
- III 「あんしん未来」を創造する

### 実践目標

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 「ごちゃまぜ」の力をまちづくりの原動力に</li><li>② 福祉・介護の魅力発信とイノベーションの促進</li><li>③ 身近な地域で共生社会の実現を目指して</li><li>④ 断らない相談支援に向けた包括的支援体制づくり</li><li>⑤ ライフステージに沿った総合的な権利擁護体制づくり</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>⑥ 福祉を支える人を「育てる・支える」仕組みの充実</li><li>⑦ みんなで取り組む、災害に備えた<br/>あんしんの仕組みづくりのために</li><li>⑧ 新たな「あんしん」づくりの創造拠点<br/>「長野県あんしん未来創造センター」の設置にむけて</li></ul> |
|---|--|

信州ふっころプラン推進会議

実践目標 ① 「ごちゃまぜ」の力をまちづくりの原動力に

# みんなで取り組む福祉教育

## ～プラットフォームづくりを目指して～

### 「ごちゃまぜ」の社会を目指し 「ともに生きる」を発信する

令和2年に、長野県地域福祉支援計画がスタートし、これを踏まえて、昨年度、県内の官民100団体の皆さんと一緒に信州ふっころプランを策定しました。

信州ふっころプランは、地域共生社会の実現を目指して、皆で取り組む共同のアクションプランという意味合いを持ちます。

この中のキーワードに「ごちゃまぜ」があります。ごちゃまぜには、多様性のある地域づくりを進めていこうという意味と、福祉分野を超え、教育分野やまちづくり等多様な分野の人たちとともに地域課題を解決していこうという決意が込められています。

### 福祉教育の重要性

地域共生・信州を目指し「ともに生きる」を発信していくために、一人ひとりが自分たちの地域・暮らしについて考え、ともに暮らしをつくる仲間であることを考えることが大切です。

信州ふっころプランには、「ともに生きる」マインドを発信し、互いを認め合い、多分野と連携しながら、共生の理念をすべての世代に伝えていく福祉教育の重要性を謳っています。

「ふだんのくらしのしあわせ」を自分ごととして考え、「共生の文化」をつくるのが福祉教育の目標です。

### 令和3年度第1回福祉教育推進セミナーの開催

本会の令和3年度事業として、みんなで取り組む福祉教育を進めていこうと、5月31日に第1回福祉教育推進セミナーをオンラインで開催しました。

全県の市町村社協をはじめ、地域包括支援センター、公民館関係者、当事者団体、あいサポート推進員、NPO団体等67名が参加。福祉教育の実践者6名による座談会のあと、参加者がグループに分かれて情報交換会を行いました。

福祉教育への思いを共有し、みんなでもに取り組む

**福祉教育  
推進セミナーで  
キック・オフ！**



オンラインで県内各地の様々な団体をつなぎセミナーを開催。UDツールも活用し情報を発信しました。  
※話された音声も文字に表示するアプリ

ネットワークづくりを目指し、「ともに生きる」福祉教育の輪が広がるキックオフの会となりました。

### ふだんのくらしのしあわせ福祉教育

「ふくし」とは「ふだんのくらしのしあわせ」というキーワードで表現し、特別なことではなく、身近なものとして、多様な世代へ伝えていく広い意味での福祉教育を発信していきます。

### リアルな福祉に向き合う共生教育

共生社会を目指し、長野県では共生教育や信州あいサポート運動に取り組んでいます。社会的影響を受ける暮らしの課題などにも目を向け、リアルな福祉に向き合う必要があることを、共生教育を通して考えていきます。

### 福祉の仕事に関心を広げる福祉キャリア教育

福祉キャリアの構築を多世代へ働きかけていくことは、持続可能な福祉人材の育成・確保にもつながります。将来的な人材の活躍への期待と、福祉に関わる仕事のさらなる広がりを見据えた福祉キャリア教育を推進します。

**「ともに生きる」を発信する県社協の取組**

① 目標

ふだんのくらしのしあわせ 福祉教育	リアルな福祉に向き合う 共生教育	福祉の仕事への関心を広げる 福祉キャリア教育
----------------------	---------------------	---------------------------

地域ごとに、みんなで取り組む

② 学びの場

- ふくし オンラインカフェ(隔月開催)
- 福祉教育推進セミナー
- 福祉教育推進員の拡充
- まちづくりボランティアフォーラム  
R4. 2月 開催予定  
関プロ地域福祉学会  
セミナー(同時開催)

③ 「福祉で学ぶ」訪問講座

福祉教育 キャリア教育 講師派遣

NEW 福祉教育 キャリア教育 市町村社協等との共同開催  
経費は県社協負担

令和2年…50回派遣、令和3年…派遣・共同開催で100回



実践目標 ② 福祉・介護の魅力発信とイノベーションの促進

# 福祉を取り巻く「イノベーション」とは

## なぜ今イノベーションが求められているのか

イノベーションが求められている背景の一つには、2040年問題が挙げられます。少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者の人口がピークになる2040年以降には労働人口が激減して労働力不足が深刻になるだけでなく、年金や医療費などの社会保障費も増大することが予想されています。こうした状況に対応していくため、ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）などの活用や、農林業、デザイン、観光など異業種・異分野とのコラボにより、信州から福祉・介護分野のみらいを拓くイノベーションを進めていくことが期待されています。

## 工業高校の生徒が福祉を考える

駒ヶ根工業高校では、令和元年度から信州共生みらいアイデアコンテストに参加し、介護職員の負担を減らすリフトのアイデアを考案しました。

製作にあたっては、まず施設に足を運び、課題や困りごとがないか聞き込むことから始めました。その中で「床で寝ている利用者さんを、ベッドに乗せる時に腰を痛めてしまうんだよね」という介護職員の話から、「なんとか職員さんたちの負担を軽減できないだろうか」と考えました。

そこで誕生したのがベッドへの移乗を支える「ゆっくりリフター」です。翌年には、送迎車両へ車いすのまま乗車できる安価で扱いやすいリフトを作ろうと、「らくらくるまいすりフター」も製作しました。

「福祉について専門的な知識はありません。でも、僕たちが学んでいるものづくりや工業の力を使って、介護

する人の負担を減らせるものを作ることが、直接的ではなくとも福祉を支えることにつながっていると思っています」と生徒たちは話してくれました。

## 本質と価値を見失わないこと

担当の林厚志先生は、「ものづくりにおいて欠かせないのは、本質と価値を見失わないこと」だと言います。

「学んだ技術を使って、作りたいものを作っている、突き詰めた先は自己満足で終わってしまいます。大事なのはその技術を“誰のために”使うのか、そして、その技術で“何をしたいのか”です。それがものづくりの本質と価値です」

林先生の説く本質と価値には、人を思う気持ちが背景にあり、そこには福祉や工業といった垣根はありません。

イノベーションにとって欠かせないことは、たとえ連携を図る組織や団体間の強みや特性、知見が異なっても、その根底にある本質と価値にお互いが共感し合い、共通目的を目指すことだと言えます。

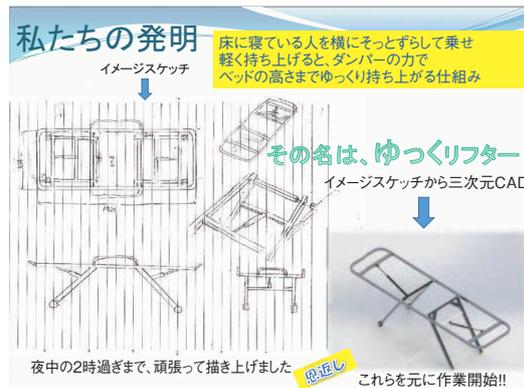
## イノベーションへの期待

コロナ禍の影響を受け、多くの行事やサービスなどに変化が求められる一方で、工夫次第で従来以上のサービスを生み出すムーブメントが起こりつつあります。

今働いている職員やこれからの未来を担う職員に、風通しの良い環境を作るために、利用者さんにさらに良いサービスを提供するために、そして制度改正に際して土壌を作り上げるために、信州から福祉・介護分野のみらいを拓くイノベーションを進めていきましょう。



2019年度Zチームが考案した「ゆっくりリフター」



実践目標 ③ 身近な地域で共生社会の実現を目指して

# 目頃のつながりから 地域の福祉力を高める

## 一人ひとりの個性を尊重する「居場所」と 誰もが活躍できる「役割」をご近所福祉で実践

地域が持つ魅力を最大限に引き出し、様々な課題に直面している地域そのものを元気にしていこうという取組が各地で展開されています。地域共生社会を創っていくためには、地域住民が自分の身近な地域にどんな人が暮らし、どんな地域生活課題があるか、自分たちが課題解決のために何ができるかに関心を持ち、地域の支え合いの輪に加わることが大切です。

### 上伊那郡宮田村の取組

#### お互いの顔が見える村で地域の支え合いづくり

上伊那郡宮田村は人口約9000人、小学校、中学校が各1校というお互いの顔が見える村です。行政と社協が連携し、平成27年から介護保険の生活支援体制整備事業を活用して地域のお宝探しを継続的に行い、「地域の支え合いづくり」に取り組んでいます。

その中心として重要な役割を担っているのは地域福祉のコーディネーター（宮田村では地域支え合い推進員）です。「さまざまな人のつながりや支え合いによって、見守ったり見守られたりしながら、安心して暮らせることを地域の皆さんに知ってもらいたい」コーディネーターの黒沢香菜さん（宮田村社協）は、お宝からお宝をつないでもらうようなイメージで地域にアプローチをしていると話します。

#### 地域住民の背中を押すのが 行政と専門職の役割

生活支援体制整備事業を進めるにあたり、行政から社協等に丸投げするのではなく、役場職員も含めみなで意見を話し合うことから取り組み始めた宮田村福祉課の山下孝一さんは振り返ります。



2019年2月に宮田村で開催された「地域のお宝大発表会」。村内にある様々な支え合い活動から、これからの自分たちの暮らし方や、地域づくりを考えることを目的に開催しています。

### 上田市豊殿地区の取組

#### 地域みんなの元気の源 ふれあいサロン「ひなたぼっこ」

上田市豊殿地区は、安心して暮らせるまちづくりを目指して20年以上前から住民主体による様々な地域活動を進めています。

その拠点となるのが2018年7月にオープンした「ふれあいサロン hinata bocco とよさと（愛称ひなたぼっこ）」です。食堂のほか、認知症や福祉についての自主勉強会「安心」の地域づくりセミナー、認知症高齢者の交流相談会（オレンジサロン）、こども食堂等を開催し、多世代が交流しています。

地域のボランティアや住民組織などでつくる「豊殿ふれあいサロン運営委員会」が運営し、現在は約40人のボランティアが活動しています。

#### 認知症になっても 自分らしく暮らせる地域に

「地域の皆さん方が気軽に立ち寄れて、元気になっていく、支え合い助け合う地域づくりの拠点です。認知症になるのはやむを得ないことです。けれどもそれを当たり前として本人も周りも受け止められる地域、お互いに支え、支えられる地域をつくりたいというのがこのサロンの願いです」と運営委員長の神林芳久さんは語ります。



ふれあいサロン「ひなたぼっこ」(右の棟)。運営事務局があるJA長野会の福祉施設「豊殿の家」と農産物直売所が隣接



食堂の日替わりランチセットは一人暮らしの方の食生活の改善にも役立っています。サイフォンで淹れるコーヒーも大好評

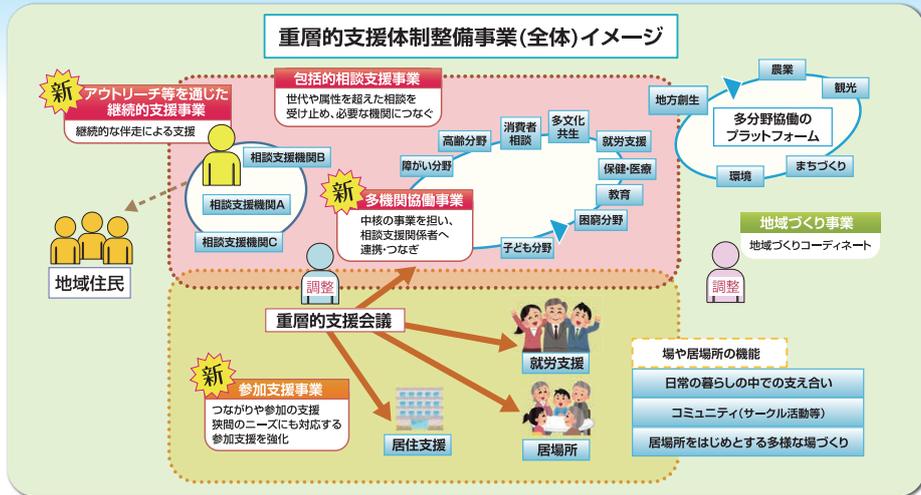


神林芳久さんはまちづくり協議会の立ち上げ時からの主要メンバー



実践目標 ④ 断らない相談支援に向けた包括的支援体制づくり

# 重層的な体制整備に取り組む



## 世帯支援・地域支援を重視した新事業の展開

地域共生社会の実現を目指して、令和3年4月、社会福祉法の改正により、市町村ごとに「相談支援」「参加支援」「地域支援」の機能を重層的に整える「重層的支援体制整備事業」がスタートしました。

県内では、令和3年度、この本事業や移行準備事業に9自治体が行っています。この取組を各地域に広げ、個人のみならず世帯が抱える複雑・複合化した課題を丸ごと受け止める包括的な相談支援、つながりや役割、関係性を創出する参加支援、多様性を認め合える地域づくりを多機関協働のもと進めていく動きが展開されてきました。

## 飯綱町 重層的支援体制整備事業 移行準備事業の取組

### 町民目線で庁内連携体制づくり

飯綱町は令和5年度に重層的支援体制整備事業の実施に向けて、令和3年度から移行準備事業に取り組んでいます。

町の地域福祉計画における住民アンケートで「相談・紹介から解決まで総合相談の対応、体制を充実してほしい」という要望が6割近く



つながる窓口を担当する相談支援包括化推進員の坂木攝さん(右)と生活支援コーディネーター兼務の藤木康弘さん(左)

ありました。ひきこもりや生活困窮などの相談件数も増える中、対応する機関が少なく、対応に苦慮している行政の実情もあり、重層的支援体制整備事業に取り組むことにしました。

## どの課のどの窓口の誰でも断らない総合相談の対応を

多機関協働の取組として、多岐にわたる相談者・課題に対応するため、役場内に「つながる窓口」を令和4年度に新設する予定です。

「つながる窓口は一つの入口です」と坂木さん。「キャッチするアンテナは各所に張って、困りごとは管轄外でも断らず、どこの課のどこの窓口の誰であっても相談を受けることができるように、町民目線で役場全体が相談の窓口になることが目標です」

窓口には、坂木さんから2名の相談支援包括化推進員を配置し、関連する機関との連携により「見立て、役割分担、調整・コーディネート」を行います。

## より住みやすい町にするために

制度の狭間にある支援のしづらさは、地域の住みづらさ、生きづらさになっています。一つの窓口をつくることで支援がしやすくなり、住民の意識にも変化を与え、より住みやすい町に変えていくことができるのではないかと坂木さんは期待を込めます。

「準備段階から庁内すべての課が協議をすることで町の将来へとつながっていきます。会議も楽しく進めたい。最初は大変ですが、これから何ができるのか、どう変えていけるのか、楽しみとワクワク感を持って取り組んでいます」

坂木さんたちの熱い思いとともに、飯綱町の重層的支援体制の土台づくりが着々と進められています。

実践目標 ⑤ ライフステージに沿った総合的な権利擁護体制づくり

# 『身寄り』問題に取り組む ～地域の中で進める権利擁護支援～

## 地域における権利擁護支援の課題

核家族化した世代の高齢化や地縁血縁の希薄化の中、高齢者の増加に反比例し人口は減少に転じ始め、家族や親族に頼ることができない方が増えています。

身寄り問題は身寄りのない方個人の問題ではなく身寄りのない方を平等に扱い包摂することができない社会の側の問題です。

今後、身寄りのない方がますます増加することが予測されることから、住宅入居、施設入所や医療同意、金銭管理、死後事務など、様々な職種や機関の参加を得て、地域ごとにこうした課題に立ち向かうことが求められます。

## 箕輪町社会福祉協議会の取組

### おひとりさま検討部会の発足

箕輪町社協では、地域の身寄り問題を考えようと、行政、弁護士、民間の福祉サービス事業者等に声をかけをし、『身寄り』なき時代の地域ガイドラインづくりに向けて勉強会を重ねています。

勉強会は、箕輪町あんしん未来創造事業である総合相談実務者連絡会の「おひとりさま検討部会」として本年5月から始まりました。これまでに4回開催し、課題について資料の読み合わせ、現状把握、金銭管理についての事例検討などを行っています。

箕輪町社協の西澤智美さんは、社協とも長年関わりのある有料老人ホーム経営者の中嶋一郎さんや、訪問サー

ビス等事業者の岡勇介さんから身寄り問題の事例検討をしたいという申し出もあり、民間事業者やケアマネージャーを含めた担当者レベルの勉強会を開催することにしました。

### 身寄りがあっても、なくても その人を支援できる地域に

身寄りのないことがその人の困りごとでなければ問題は、と西澤さんは捉えています。おひとりさま検討部会の取組は、支援を必要とする人がたまたま身寄りがないだけであって、支援の方策がないと対応に困るので、それらを集めるためにみんなで協働するイメージだと言います。

今後は総合相談実務者連絡会とも協議・連携し、町全体で『身寄り』なき時代の地域ガイドラインづくりを本格的に進めていく予定です。

## 『身寄り』なき時代の地域ガイドラインづくりプロジェクト

### ●プロジェクトの概要

#### 【背景】

長野県社協では、日々、住民が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいますが、家族や親族に頼ることができない方が増えており、いわゆる身寄りがいないことで本人の権利が守られないなど、さまざまな社会課題が浮き彫りになってきています。

#### 【取組内容】

身寄り問題に関わっている方々の参画を得ながら、身寄りの問題について検討、協議を重ね、その改善を目指した「地域ガイドラインづくり」に取り組めます。

#### 【ねらい】

身寄りがあってもなくても安心して暮らせる地域づくりと、一人ひとりが尊厳のある暮らしを営める社会の実現を目指します。



地域福祉コーディネーターの西澤智美さん(左)と早川恭世さん(右)。「何事も知ることから始まります」と西澤さんたちは、その人に会って話し、その場に行ってみることを大事にしています。



**実践目標 ⑥ 福祉を支える人を「育てる・支える」仕組みの充実**

# 福祉・介護の仕事を、信州で！

## 長野県への移住の現状

認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京都）が毎年行っている移住希望地調査では、2017年から2019年まで長野県が移住相談希望地ランキング1位となっています。2020年は、新型コロナウイルスの影響で移住促進のセミナーが減少するなどの環境変化の中で、3位となりました。

しかし、移住者の実数では、2,426人と引き続き増加しており、都会から近く、自然豊かな信州への人気は継続しています。

長野県社協福祉人材センターにも移住希望者からの相談が増加傾向です。

福祉の資格や経験のある方が就職につながるケースはもちろんですが、機械修理のキャリアを持つ方が、介護機器のメンテナンス担当として福祉施設に採用されるなど、様々なマッチング事例が出てきています。

### 【移住相談 希望地ランキング】

順位	2017年	2018年	2019年	2020年
1位	長野県	長野県	長野県	静岡県
2位	山梨県	静岡県	広島県	山梨県
3位	静岡県	北海道	静岡県	長野県

出典：ふるさと回帰支援センター（東京）

キャリア支援専門員の方とつながり、就職に結びつくことができました。

### — 今の仕事や暮らしはいかがですか？

高齢者施設で生活支援員をしています。休日には、家庭菜園やご近所さんの畑仕事のお手伝いをしています。

信州の魅力は、人があたたかくて、自然環境に恵まれているところです。



40代のときに信州で新規就農者として働いた経験も

吉田 弘行さん 66歳  
埼玉県川越市出身、伊那市在住

## 長野県福祉人材センターの取組

### 令和3年度の実施状況

令和3年度は6月からオンライン福祉の職場説明会を開催していますが、約110法人、170事業所の参加があります。求職者からは延べ14名から問い合わせがありました。

そのうち、長野県外からの問合せがあり、オンライン説明会を行ったのは2名です。いずれも関東地区から南信地域への移住の予定があり、福祉の仕事をしたいという相談がありました。現在2名ともキャリア支援専門員のサポートを受けながら、求職活動を行っています。

福祉人材センターでは今後とも行政等と連携して、一人ひとりにあった求職活動をサポートしていきます。

## 信州に移住して福祉の仕事に就いた方にお聞きしました

### — 長野県に移住したきっかけは？

甥が自閉症で県内のグループホームで生活しています。甥の両親は他界し、妻がキーパーソンを担っています。私たちが近くで生活することで甥の生きる力の一部になれたらと引っ越しを決めました。

### — 移住の際に活用したツールは？

移住前は、静岡県で福祉の仕事をしていました。その資格を活かすことができたらと、長野県の福祉の仕事を探していた際に、県の移住相談窓口と県社協のオンライン福祉の相談会があることを知り、移住前に相談ができました。そのおかげで心の準備ができ、移住後もすぐに

実践目標 ⑦

# みんなで取り組む、災害に備えた あんしんの仕組みづくりのために

## 災害福祉支援を「4本の矢」で推進

令和元年東日本台風の支援活動で核となった3つのネットワークは、「災害ボランティアセンター」「災害福祉広域支援ネットワーク」「NPOや企業等による長野県災害時支援ネットワーク」です。県社協では、これらに加えて、被災者の生活を継続的に支援する「生活支援・地域ささえあいセンター」による相談機能の強化を加え、「4本の矢」で災害福祉支援センターの機能を想定しています。



## 東日本台風災害でも活用された 災害時住民支え合いマップ

災害時住民支え合いマップは、平成18年度より各地域で取組が行われてきました。令和元年東日本台風で大きな被害を受けた長野市長沼地区でも、災害時住民支え合いマップの取組によって、多くの要配慮者が地域住民の支え合いによって避難することができました。

## 福祉サービス利用者を守るため 「災害福祉カンタンマップ」実証実験

長野県社協では26団体に参加をいただき、どこに避難したか、安全は確保されているか等の安否確認をスムーズに行うため、要支援者の各種情報をオンラインで管理共有できるツールとして、令和3年1月よりオンラインシステムを活用した「災害福祉カンタンマップ」

の実証実験を行ってきました。

令和4年4月から「防災福祉アプリ共同活用ネット」として運用開始にむけて準備をしています。

## これからの災害に備えた連携 信州災害支援テクニカルチームと 長野県社協との協定締結

令和3年12月、長野県に所縁のある災害支援のNPO4団体と長野県社協が災害時の支援に関する連携協定を締結しました。

協定を記念したトークセッションでは、連携協働することによって生まれる相乗効果が被災した地域住民の暮らしを取り戻す近道になること、そこに暮らす住民を助きたい目的はそれぞれ変わらないことを確認しました。



協定を記念したトークセッション



信州災害支援テクニカルチームと  
本会との協定締結(令和3年12月)

- DRT JAPAN
- ヒューマンシールド神戸
- 災害NGO 結
- 日本笑顔プロジェクト
- 長野県社会福祉協議会

## 災害に備えた「あんしんの仕組み」

長野県は全国的に見ても災害の多い地域です。日頃の地域の支え合いと、住民の想いを大切にされた様々な機関や団体との連携・協働により、災害に備えた「あんしん」の仕組みづくりを進めていきます。



実践目標 ⑧

# 新たな「あんしん」づくりの創造拠点 「長野県あんしん未来創造センター」 の設置にむけて

## あんしん未来創造センターの設立を目指して

長野県地域福祉活動計画「信州ふっころプラン」は、令和2年度から4年度までを期間とし、「ともに生きるともに創る 地域共生・信州」の実現に向け、本プランに参画する関係機関・団体等（以下、「参画者」という）の皆さんとともに、その歩みを進めてきています。

本計画では、「あんしん未来創造センターの設立を目指して」という実践目標を掲げ、経済的な困窮世帯や社会的に孤立した人が増えている社会のなか、個々の不安を「あんしん」に変えていくため、官民協働の輪を広げていく創造拠点をつくっていくこととしています。

令和4年度、この実践目標を実現させるべく、多くの参画者の皆さまとともに、「長野県あんしん未来創造センター」の取組を具体的に進めていきます。

「あんしん未来創造センター」は、社会的な背景により制度の狭間となっている個別の悩みや地域として抱える課題への気づきを参画者の皆さんから寄せていただき、そのことに共感する方々と、解決や改善に向けたテーマプロジェクトを立ち上げ、手法を研究、創造し、多機関

協働による具体的な実践を展開することを目指します。

生活課題を抱えていても不安なく地域のなかで暮らせるよう、参画者の皆さんを含むあらゆる機関や専門職、地域住民などと協働して実践に取り組むための基盤（プラットフォーム）となるのがこの「あんしん未来創造センター」です。

## 長野県におけるこれまでの取組

個々の生活不安やそれぞれの人の生きづらさに寄り添い、社会保障や公的な支援、サービスだけでは解決できない課題に向き合い、その解決や改善に向けた社会資源づくりのために、これまでも多くの皆さんのご協力をいただきながら、様々な「あんしん」の創造に取り組んできました。

それが、長野県社会福祉法人経営者協議会とともに実施してきた「信州あんしんセーフティネット」であり、また、77の市町村社会福祉協議会と協働してきた「長野県あんしん創造ねっと」の取組です。

そして、コロナ禍の就労支援を行政とともに実施してきたのが「緊急就労支援事業」です。

<p>2014年</p> <p>社会参加と就労支援</p> <p>信州あんしんセーフティネット</p>	<p>社会福祉法人経営者協議会に加入する社会福祉法人による地域公益活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プチバイト事業 利用件数407件 5,412,540円支給</li> <li>● 就職支度金給付事業 利用件数72件 1,977,144円支給 (いずれも2021年12月末までの累計)</li> </ul>	<p>就労を目指す前に仕事体験ができないか</p> <p>【就労体験支援】</p>
<p>2017年</p> <p>住居確保と生活支援</p> <p>長野県あんしん創造ねっと</p>	<p>社会福祉協議会による地域公益活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 入居保証事業 契約件数297件 うち公営住宅231件 (2017年10月から2021年12月末までの累計)</li> <li>● 生活改善支援事業 計192件の取組み 1,109,145円送金 (2018年4月から2021年12月末までの累計)</li> </ul>	<p>運搬保証人の壁があり住まい確保が難しい</p> <p>【居住支援】</p>
<p>2020年</p> <p>コロナ禍の対応</p> <p>緊急就労支援事業</p>	<p>官民協働のプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 直接雇用型 利用件数271件 28,991,322円支給 (令和2年6月から令和3年12月末までの累計)</li> <li>● 体験研修型 利用件数32件 147,000円支給 (令和3年6月から令和3年12月末までの累計)</li> </ul>	<p>コロナ禍、貸付などの金銭支援だけでは就労意欲が低下してしまうのではないか</p> <p>【緊急就労支援】</p>

## サポーターな社会を目指して

こうしたこれまでの取組を発展させながら、今後も、人と人、人と資源、資源と資源をつなぎ合わせ、無い資源は創り出し、地域の力を引き出しながら、お互いを支え合うサポーターな社会を実現する必要があります。

分野や立場を越えて皆がつながり、一方で社会とつながっていない人ともつながり、ひとりの人が生き生きと地域のなかで暮らせるような仕組みを「あんしん未来創造センター」としてつくっていくことを目指します。

社会的背景による様々な不安に対し、あらゆる組織や専門職、地域住民等と協働しながら、新たな「あんしん」の創造を皆で目指していきましょう。

## 信州ふっころプラン 第1期取組状況及び第2期改訂に向けたヒアリング

長野県地域福祉支援計画の策定にあわせて、令和2年度から県内101団体が参画しスタートした「信州ふっころプラン」（長野県地域福祉活動計画）に基づき、災害復興や生活困窮者支援、コロナ禍での福祉・介護現場への支援、地域住民の孤立防止等、多様な分野で協働活動が活発化してきた。また、当プラン推進会議を機運として、子ども・若者支援の支援が専門分野と社協、社会福祉法人、労働団体等が連携を深め、新たな協働事業や官民共同の取組が生まれてきている。

【信州ふっころプラン推進会議参画団体等ヒアリングより】

### ■信州ふっころプラン全体を通じた意見・要望

- ふっころプランは、「**福祉の心**」を中核にして他分野にどうアプローチをしていくかであったが、第1期は福祉が核になれていたのか検証が必要。
- 制度には穴や狭間がありそこを埋めていかないといけないと思っていたが、支援に携わる中で**制度はスカスカの穴だらけ**で一部の人がしか救えない状態であることが分かった。地域や団体がいろんなところと連携をしていくことで網の目を小さくできるのではないか。
- 101の参画団体があるので民間の活力を活かしていかニーズを見つけるか、発掘していくかが重要。金融、新聞、郵便など地域の一人ひとりと結びついてリアルな声を収集して情報が共有できるよう、**企業の参画**も必要。
- 個人同士のつながりは作りやすくなったが、**地域のつながりは希薄**になった。福祉団体として声を上げづらくなった。
- 第1期は地域での実践者にスポットを当てた福祉関係者のプランであり、**他分野としてはどこで関われるか**切り口探しをしているがうまくつながれていない状況がある。

### ■第2期プラン改訂に向けたキーワード

- 日常で、誰もが、ごちゃまぜの実感、実現
- 企業への福祉教育、企業とのSDGs連携
- 外国籍・移住者と地域コミュニティとの接点
- 農福連携（人材不足・就労の場の獲得）
- 孤独・孤立へのアプローチ
- 身寄りのない方の支援、住まいの確保
- 災害対応（個別避難計画、BCP策定）
- セクシュアルマイノリティ、外国人労働者等の視点
- 多様な分野・セクターと地域住民の関わり
- まちづくり・地域おこしの連携
- あらためて小地域福祉の推進
- 医療と福祉の連携
- 介護の仕事のやりがいを発信
- 物語をつくって応援や投資を集めていく

## 「第2期信州ふっころプラン(長野県地域福祉活動計画)」イメージ

「ともに生きる」  
を発信する

「多様性と共生を学びからアクションへ」(福祉教育・社会教育・インクルーシブ教育)

「人と自然の共生で持続可能なまちづくりを」(多分野連携・地域循環共生圏)

「地域の子カラをつなげる、広げるための関係づくり、土壌づくり」

「ともに創る」  
を実践する

「制度や仕組みのすき間を重層的に支える取組を進める」

「ライフステージに沿った総合的な権利擁護支援体制を構築する」

「選ばれる福祉事業所、選ばれる福祉業界を目指し、さらなる協働を推進する」

「あんしん未来」  
を創造する

「子ども・若者は信州の未来 地域で支えみんな育てよう」

「災害支援の現場から、今後に備えた仕組みを強化する、提案する」

「あんしん未来創造センターを起点に未来を拓く」(気づきから実践へ)

## 信州ふっころフェスティバル2022 開催要項

### 1 開催趣旨

私たちは、「ともに生きる ともに創る 地域共生・信州」の実現を目指して、長野県地域福祉支援計画に基づく民間福祉関係者のアクションプランとして「信州ふっころプラン」(長野県地域福祉活動計画)を策定し、多分野と協働しながら創造的な福祉実践に取り組んでいます。

この信州ふっころフェスティバルは、信州の自然と風土のなかで、「ごちゃまぜ」の力を原動力に、様々な個性や多様性が地域で輝く共生とふくしの未来を、みんなで感じる集いとして開催します。

- 2 主催 信州ふっころプラン推進会議 (※参画 101 団体 <https://bit.ly/3rhWSGK>)  
 3 後援 長野県、長野県教育委員会  
 4 日時 令和4年11月12日(土) 10:00~15:00  
 5 会場 須坂市文化会館 メセナホール ※オンライン併催  
 6 プログラム

10:00	<b>■オープニングセレモニー 「福祉・介護の魅力発信とイノベーションの促進」</b> ○開会宣言 ○ケアコン2022(第3回長野県介護技術コンテスト)授賞式 <b>【ゲスト】</b> <b>【総合司会】</b> 長野県知事 阿部 守一 氏 上条 百里奈 氏 10:25 介護福祉士・白梅学園大学嘱託研究員・モデル(長野県出身)	
10:30	<b>■地域共生シンポジウム 「人口減少社会に持続可能な地域づくりを考える」</b> <b>【シンポジスト】</b> 玉木 信博 氏 一般社団法人 ソーシャルファームながわ 事務局長 北澤 淳 氏 合同会社風の谷の大鹿 社員/長野県職員 <b>【コメンテーター】</b> 藤山 浩 氏 持続可能な地域社会総合研究所 所長 <b>【ゲスト】</b> <b>【司会】</b> 11:50 長野県知事 阿部 守一 氏 上条 百里奈 氏	
12:00	<b>■表彰</b> 12:30 ○長野県社会福祉協議会会長表彰 ○長野県共同募金会感謝	
13:30	<b>■スペシャルライブ</b> 13:45 <b>【ギターリスト】 Showji</b> (長野市在住)	
13:50	<b>■介護の日スペシャルトーク 「介護の魅力を語ろう、伝えよう！」</b> ○ケアコン2022 授賞作品紹介 ○スペシャルトーク 平岩 なつみ 氏 (一社)福祉 KtoY 代表理事 小林 信彦 氏 IBAFUKU プロジェクトリーダー 15:00 <b>【司会】上条 百里奈氏</b>	
サブ コン テン ツ	◆福祉展示・体験コーナー	○福祉 KtoY 「福祉人生すごろく」 ○ふくしのお仕事体験「ふくしニア」
	◆パラスポーツ紹介	会場参加者を対象に誰もが楽しめる「ボッチャ」を紹介し、障がい者スポーツ(パラスポーツ)の理解を深める。
	◆信州ふっころセレクト・ショップ	障がい者就労支援事業所等の創意工夫を凝らした珠玉の製品が集合。会場にて販売及び特設サイトで紹介。

- 7 公式HP <https://fukkorofes.jp/>

### 8 その他

- (1) プログラム詳細・オンライン配信方法は公式HPで随時ご案内します。  
 (2) 本フェスティバルは「第71回長野県社会福祉大会」「介護の日県民のつどい」「地域共生社会推進長野フォーラム」と併催しています。

### 9 事務局

社会福祉法人長野県社会福祉協議会 〒380-0936 長野市中御所岡田 98-1  
 TEL: 026-228-4244 / FAX: 026-228-0130 / E-mail: kikaku@nsyakyu.or.jp  
 (信州ふっころフェスティバルには皆様の赤い羽根共同募金が使われています)



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラ**  
(ふくしの保険ホームページ)



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

## ◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-10723より抜粋して作成)

令和4年度

社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、  
障害者支援施設、  
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で  
充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

## プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、動産総合保険等)

### ① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



## 新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!

### NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

## プラン2 施設利用者の補償

## プラン3 職員等の補償

## プラン4 法人役員等の補償

(SJ21-12224から抜粋)

# 頑張っている職員に

# 多彩な福利厚生を

会員数  
約**27.6万人**  
(2022年3月現在)



## 職員1人 毎年度**1万円**の掛け金で充実の内容!

※非常勤職員向けに5千円コースもご用意しています。

### 充実した 基本サービス



- 生活習慣病予防健診費用助成 最大**4,000円**
- 健康生活用品 毎年**1品**給付
- 電話健康相談 **無料**
- 永年勤続記念品 **5,000円~50,000円相当**
- 長期勤続者退職慰労記念品 **20,000円相当**
- お祝品 [結婚:**10,000円**の商品券 出産:**10,000円**の商品券 入学:**5,000円**の商品券]
- 弔慰金 [会員死亡弔慰金:**60万円**(就業中の事故:**180万円**) 配偶者死亡弔慰金:**10万円**]
- 見舞金 [高度障害:**60万円** 後遺障害:最高**120万円** 入院:1日**1,000円**]  
手術:損保認定の手術内容に基づく  
災害:法人**20万円** 個人**2万円**(第1種会員)、**1万円**(第2種会員)
- 資格取得記念品 **5,000円**相当
- 海外研修 1人あたり**10万円**補助
- 各種講習会 受講料・教材費**無料**
- クラブ・サークル活動助成 **1,000円**(会員1人あたり)
- オリジナル手帳、情報誌のお届け

### 地域密着 サービス

- 会員交流事業 参加費用最大**75%OFF**

### お得な 優待割引 サービス



- 指定保養所 優待料金+**2,500円引**
- 会員制リゾート施設 法人会員料金
- 提携宿泊施設、国内・国外パッケージツアー、レンタカー
- スポーツクラブ、スクール
- ソウェル保険 [団体生命・総合医療保険・積立年金保険、傷害保険、入院保険、がん保険]
- 特別資金ローン(多目的ローン)、特別提携住宅ローン
- 文具・事務用品、書籍・CD、社用販売、子供用品、保健福祉用品・防災防犯用品カタログ販売
- 住宅建築、マイカー購入・リース、結婚式場・結婚支援サービス、葬祭サービス、引越サービス
- ソウェルクラブ“クラブオフ”
  - 全国の宿泊施設、レジャー施設、日帰り湯、グルメなど、幅広い分野のサービス
  - 全国**200,000以上**のメニュー優待料金

資料請求はこちら

<法人・事業所のご担当者のみさまへ>

サービスの詳細は資料をご請求ください。訪問もしくはオンラインを利用してご説明することもできます。



社会福祉法人 福利厚生センター

<https://www.sowel.or.jp>

TEL. ☎0120-292-711

詳しくは

または、お電話でお問い合わせください。

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング10階

♪ 困ったときは、おたがいさま



♪ 支え合う人たちがいる

ひとりひとりの小さなお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがこもって  
十人、百人、千人と集まれば、大きな力に変わります。赤い羽根は、小さなことをしています。  
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

# 赤い羽根共同募金





## 信州ふっころプラン推進会議

### 地域生活課題に係る 各分野の県の団体 (社会福祉法第4条)

長野県救護施設協議会／長野県高齢者福祉事業協会／長野県宅老所・グループホーム連絡会／長野県老人保健施設協議会／長野県児童福祉施設連盟／長野県保育連盟／長野県母子生活支援施設連盟／長野県身体障害者施設協議会／長野県知的障がい福祉協会／長野県せいしれん／長野県セルフセンター協議会／きょうされん長野支部／長野県社会福祉法人経営者協議会／長野県ケアハウス協議会／長野県社会福祉事業団／長野県身体障害者福祉協会／長野県肢体不自由児者父母の会連合会／長野県視覚障害者福祉協会／長野県聴覚障害者協会／長野県信鈴会／長野県難病患者連絡協議会／日本筋ジストロフィー協会長野県支部／長野県里親会連合会／長野県ひとり親家庭等福祉連合会／長野県精神保健福祉会連合会／長野県手をつなぐ育成会／認知症の人と家族の会長野県支部／長野県遺族会／長野県自閉症協会／日本てんかん協会長野県支部／長野県社会福祉士会／長野県介護福祉士会／長野県精神保健福祉士協会／長野県介護支援専門員協会／長野県医療ソーシャルワーカー協会／長野県相談支援専門員協会／長野県作業療法士会／長野県理学療法士会／長野県言語聴覚士会／日本福祉施設士会長野県支部／長野県はり灸マッサージ師会／長野県子ども会育成連合会／長野県シニアクラブ連合会／長野県長寿社会開発センター／信州くらしの支えあいネットワーク／長野県医師会／長野県歯科医師会／長野県薬剤師会／長野県看護協会／長野県栄養士会／日本赤十字社長野県支部／長野県精神保健福祉協議会／長野県精神科病院協会／長野県高齢者生活協同組合／長野県障がい者スポーツ協会／長野県介護福祉士養成施設連絡会／介護労働安定センター長野支部／長野県健康づくり事業団／長野県将来世代応援県民会議／長野県同和教育推進協議会／部落解放同盟長野県連合会／長野県人権擁護委員連合会／長野県保護司会連合会／長野県保護観察協会／長野県司法書士会／成年後見センター・リーガルサポートながの／日本司法支援センター（法テラス）長野地方事務所／長野県防犯協会連合会／長野県交通安全協会／“社会を明るくする運動”長野県推進委員会／信州豊かな環境づくり県民会議／長野県連合婦人会／長野県男女共同参画推進県民会議／長野県PTA連合会／長野県小学校長会／長野県中学校長会／長野県特別支援学校長会／長野県高等学校長会／長野県私立中学高等学校協会／長野県高等学校PTA連合会／長野県国立幼稚園・こども園長会／長野県農業協同組合中央会／日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会／日本ボーイスカウト長野県連盟／ガールスカウト長野県連盟／国際ロータリー第2600地区／長野県国際化協会／長野県国民健康保険団体連合会／長野県経営者協会／長野県商工会議所連合会／長野県商工会連合会／長野県中小企業団体中央会／長野県生活協同組合連合会／長野県NPOセンター／長野県みらい基金／日本労働組合総連合会長野県連合会／長野県労働者福祉協議会／

### 地域福祉を推進する 団体

市町村社会福祉協議会（社会福祉法第109条）  
長野県社会福祉協議会（社会福祉法第110条）  
長野県共同募金会（社会福祉法第112条）  
長野県民生委員児童委員協議会連合会（民生委員法）

### 〈関連する県のネットワーク〉

信州あんしんセーフティネット事業（長野県社会福祉法人経営者協議会）／長野県あんしん創造ネット（県内社協公益事業）／長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）／長野県災害時支援ネットワーク（Nネット）



# 信州ふっころプラン推進会議

(参画101団体 <https://bit.ly/3rhwSGK>)

**事務局** 社会福祉法人長野県社会福祉協議会